

# 志を縁として人々をつなぐ



▲手話の会活動の様子

## 久留米手話の会

会長 塚本 秀二  
連絡先：0942-37-7634

手話というコミュニケーションで人と人をつなぐ「久留米手話の会」は、手話講習会の卒業生を中心に活動してきました。

主な活動としては、聴覚障がいの方が市役所などで手続きをする際や会議・講演会の場で手話通訳を行っています。また、小中学校で手話や聴覚障がいについて知ってもらう活動などを年間460回以上行っています。

障がい者の権利を守るためにも依頼があれば絶対に断らないという理念で、曜日や時間帯を問わずメンバーが対応します。

心配しているのは災害時の対応です。手話を必要とする人たちの被災情報がない中で、どれくらい活動できるか不安に感じます。だからこそ聴覚障がい者の方の権利を守るために、もっと手話ができる方を増やしていきたいと思えます。

手話を通して家族のように付き合える仲間ができ、たくさんの笑顔に出会い、自分を表現できる喜びもあるこの活動にやりがいを感じています。

今年の6月2日には40周年記念式典を迎え、「人と人をつなぐ架け橋となろう」という志がさらに発展していく契機になると思っています。

「久留米断酒友の会」は、アルコール依存症の当事者たちが一人ではなく、みんなと助け合って依存症を克服していく自助グループです。主な活動としては、飲酒運転撲滅活動や断酒継続のためのミーティングなどを行っています。

メンバーは、生活環境や価値観は違っても、共通の悩みを抱え同じ目標を持っているので団結力があります。また全国組織なので、北海道から沖縄までどこに行っても同じ悩みを分かち合う仲間がいるということも心強いです。

メンバーの一人は、「この会に入ってア

ルコールがなくても生きていけると気づいた。以前より別の楽しみがふえた」と話しています。

断酒を続けることは、本人だけの努力ではなく、家族の理解や愛情も必要です。また、家族同士でも普段は言えないことをこの会だからこそ話すことができ、ストレス解消にもなります。

アルコールに依存する可能性は誰にでもあります。会には職業・年齢を問わず参加できるので、一人で抱え込まず参加してほしいです。多くの方と一緒に断酒について勉強したいと思っています。



▲西鉄久留米駅前にて飲酒運転撲滅活動

## 久留米断酒友の会

会長 重松 英雄  
連絡先：0942-73-2350

### 「キラリ輝く市民活動活性化補助金」交付団体



▲研修会の様子

## 久留米市民ゲートキーパー絆の会

会長 高口 美津子  
連絡先：0942-30-9728 (久留米市保健所協働)

命の門番を意味するゲートキーパーは、さまざまな悩みを抱えた方たちが発する自殺のサインに早く気づき、問題解決のため適切な関係機関につなぐ役割を担っています。平成10年から全国の自殺者は3万人を超え、久留米市の年間自殺者も毎年60～80人で推移している現状の中、「久留米市民ゲートキーパー絆の会」の活動に注目が集まっています。

平成22年、市民4人と久留米市保健所職員1人が集まり、どうしたら自殺を防げるかについて勉強会を開いたことから活動がスタートし、平成24年6月に地域密着型の自殺対策推進モデルの構築

を目的として会を設立しました。現在、自分たちの身近なところから「悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげ、見守る」というゲートキーパーの役割を果たしています。

市民と行政が協働して「久留米市民一人ひとりがゲートキーパーに」という想いで活動の輪を広げるとともに正しい知識を持って活動してもらえるよう研修会や講座、イベントなどを行っています。

「悩んでいる人の力になりたい」という想いを持つ方たちがゲートキーパーになり、みんなの絆やつながりで命を守るこの活動を今後も広げていきたいです。

# 活動をしている団体を紹介します。



▲日曜市の様子

## NPO法人くるめ日曜市の会

理事長 若江 皇絵  
連絡先：0942-39-3617

「NPO法人くるめ日曜市の会」は、300年間も続く高知市の日曜市になって、久留米市の中心部に日曜市のような賑わいをつくり出す活動をしています。

毎月最終日曜日に明治通りアーケードでくるめ日曜市を定期的に開催し、久留米を中心とした筑後地域の新鮮な野菜や果物、加工品や工芸品などを販売し、街の活性化に取り組んでいます。この日曜市を定着化させ、ゆくゆくは明治通りの片側を歩行者天国にし、毎週日曜市を開催することが目標です。

この日曜市を通じて、みなさんが人と人の温もりを感じることができ、久留米で育つ子どもたちも誇れる活気ある街にしようという想いで取り組んでいます。

何よりみなさん楽しんで頂きたいのは、日曜市ならではの売り手・作り手と消費者とがふれ合いながら、筑後の魅力を共有できることです。

何度来ても楽しんで頂けるよう工夫していますのでぶらりと日曜市にお越し下さい。

地域のお兄さん・お姉さんとして、子どもたちと放課後・休日に一緒に遊ぶ活動をしているのが「パルクッズ久留米大学」です。

活動は草野校区を中心に、毎週水曜日と第2・4土曜日、体育館や運動場でのボール遊びや体験活動中の見守り、子どもたちの入退室の管理、バスケットボール、ドッチボールなどのスポーツ支援、宿題サポートなどを行っています。

世代の縦のつながりを持つためにも「大人と子どもの橋渡的存在」として、しっかり身体を動かす遊びや学習支援など、大学生だからこそできることが

あると思っています。そのためにも、子どもたちの見本になるように心がけたり、子どもたち一人ひとりに合わせて関わり方を考えたりして、子どもたちの成長を見守りながら私たちも一緒に成長していると思います。

平成24年10月に福岡県より「ふくおか共助社会づくり奨励賞」を受賞、また、「平成24年度優れた“地域による学校支援活動”推進にかかる文部科学大臣表彰」に選ばれたことも活動の励みになっています。

今後はNPO法人化も視野に入れ、組織として継続的に活動できるようにしたいと考えています。



▲キャンパス訪問の様子

## パルクッズ久留米大学

代表 張 友樹  
連絡先：090-9072-5248

### 「キラリ輝く市民活動活性化補助金」交付団体



▲登下校時の見守り活動の様子

## 御井校区地域安全推進会

会長 池田 晴弘  
連絡先：0942-44-0516

「地域に住む子どもたちは地域で守る」という想いで、自治会ごとに児童・生徒の登下校時の見守り活動を続けてきました。平成24年6月に「御井校区地域安全推進会」を設立し、地域のネットワークを活かして活動しています。

通学路には歩道用の信号がなく危険な所もあり、また横断歩道を渡ることで交通ルールを守る子どもが増えました。また、子どもたちがメンバーの顔を覚えてくれて、活動以外で会った時にもあいさつしてくれるようになりました。

他にも違反広告物の撤去活動や、買い物や散歩の時に防犯ウインドブレーカーを着ることで防犯効果につながる“ついで隊”の活動も行っています。

平成24年10月22日に開催した「御井校区安全と安心まちづくりのつどい」では、久留米警察署の方から講話を聞いたり護身術を学びました。値しを過ぎて、それぞれの自治会での取り組みの情報を共有し、「御井校区で絶対に被害者・加害者を出さない」という強い信念をみなさんと再確認することができました。